カトリック二俣川教会
教会だより
２０２４年 7月号
No.371
（２０２４年６月30日 発行）

二十六聖人

日本二十六聖人殉教者

聖ディエゴ喜斉（きさい）

５、イルマン（殉教直前にイエズス会に入会）。
体をヤリで貫かれる時、小声でイエスとマリアの名を唱えた。64歳。備前生まれ。

日本二十六聖人殉教者

聖パウロ三木（みき）

６、イルマン(イエズス会の修道者)。安土のセミナリオ(神学校)の一期生。優れた説教家で、「わたしは何の罪も犯したわけではない。キリシタンの教えを広めただけで処刑されます。私はこの理由で死ぬことを喜び、私の死に関わったすべての人を許します。」と十字架上にあっても群衆に説教をした。日本人殉教者の筆頭に挙げられている。33歳。摂津生まれ。

巻頭言：わたしはぶどうの木

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。【ヨハネ 15、5】

子供の時、毎主日の朝 9 時から始まる「教会学校のミサ」はとても面倒なものでした。8 時ごろには家から出かけなければならなかったし、そのためにはせっかくの主日の朝寝坊を諦めなければならなかったのです。わたしは「学校生活」が苦手だったので、「教会学校」もあまり気に入りませんでした。リーダーたちも、ミサを司式する神父様も厳しかったのです。説教はまず、神父様の質問から始まりました。「今日の福音の内容は何だったの。」神父様の説教はいつもこのように始まり、一人一人立たせながら、答えを促しました。うまく答えられなかったら、説教の間、ずっと立っていなければなりませんでした。今、振り返ってみても、「やはり、子供たちには無理な時間だったな」という気持ちとなります。

でも聖体拝領が始まると、みんな元気になって、子供たち用の聖歌集にある拝領の聖歌を歌ったりしました。小さな小教区でしたが、その時代には子供が多かったので、聖堂は子供でいっぱいでした。わたしたちの歌声は、教会の古びた建物を吹き飛ばすほどの勢いでした。その聖歌の中の一つ、それがまさに「わたしはぶどうの木」でした。速いテンポで、歌詞も福音とそっくりだったので、歌うことだけで、福音の内容がいつの間にか頭に入り込んできました。

「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。枝が木につながっていなければ、何も結べないように、あなたがたもわたしにつながっていなければ、そうなるはずであろう。」

少し前のある夜、聖櫃の前に座って御聖体に心を向けていると、次のような思いが湧き上がってきました。パンとぶどう酒の形となってでも、わたしたちとつながっておられようとするイエス様。兵士たちの前で反抗したペトロに、「剣をさやに納めなさい。父がお与えになった杯は、飲むべきではないか。」とおっしゃったでしょう。それからしばらくの間、弟子たちはイエス様を失い、「イエス様がいなければ、イエス様につながっていなければ、自分たちは何もできないのだ」ということがはっきり分かったはずです。わたしたちは皆、そういう人たちでしょう。自らは何もできないことを認めてはじめて、イエス様の存在が大きく感じられるのです。

洗礼者ヨハネは、「あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。」と言いました。わたしたちはイエス様につながるために、小さな枝としていなければなりません。枝はあくまでも、ぶどうの木であるイエス様のものだからです。昔の教会学校の思い出と共に、その事実が改めて心に響きます。

主任司祭　ヤコブ　姜 真求

来たる 7 月 13 日、姜神父様は司祭叙階 30 周年を迎えられます！

神父様の司祭としての 30 回目のお誕生日をお祝いしながら、私たち自身が『召命』について考えてみる機会として、**〔あなたにとって“召命”とは？を考えてみませんか〕**について寄稿を頂きましたのでご紹介します。

私にとって「召命」は生涯の節目によって、変化させられてきました。親を通して何か感じる時期があり、それが本当になったかと思うとまた、変化してきて、生きていくことが「召命を探している」ような気がしています。

「hic et nunc（ラテン語＝今、ここで）」、今ここにイエズスが居たら何をするだろうかと考え、それを具現するため自分が行動すること。

神様と共にあり、神様に喜んで頂くために働くこと

神さまのみ旨にかなう人間でありたい、そうあるべきと努めていますが、未熟な私には重くてでもたのしみな課題です。

弱く罪ある私。父や妹の家族の死。持病との共存。50 代になり、父や母のごミサを大切にしていた姿にならい、素直に、「ハイ」と、奉仕の呼びかけに応えるようになってきました。

両親は熱心で素晴らしい仏教徒（浄土真宗）でした。その宗祖である親鸞とカトリックの教えは似ているとある神父様が言われました。その家庭で育った私はカトリック信者になりました。

神の恵みを受け
神の喜びに生きる

神様は人使いが荒い叶わないのは分かっているから苦笑いで祈ります。「神様、役目を解いてください。私には荷が重すぎます。」

外的にはタレントを徹して
内的には祈りを通して

長く教会から離れている頃に、イタリアでごミサに与る機会がありました。「主の平和。」の挨拶がハグだった時の驚きと温かさ！これが私を教会へと連れ戻してくれた召命と言うべきでしょうか。思いがけなくも与えられた新しい日々に感謝しています。

姜神父様、司祭叙階 30 周年おめでとうございます！

2024年6月 （6月2日 開催）

【検討事項】

1．ナン助祭様叙階のお祝いを6/9に行います。歌のプレゼント、花束贈呈、集合写真撮影、マリア会パーティー係が準備してくれた軽食パーティーなど盛りだくさんの企画を用意しています。

2．当教会は沢山の個人情報を保管しているので、セキュリティーの強化を行っています。本年2月の名簿類管理規程に続き、今回は電子情報へアクセスするためのパスワード類を見直しました。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

3．「今週のお知らせ」は前週水曜日までに事務所に届いた情報をもとに作成されています。掲載したい記事や行事予定の変更は必ず水曜日中に事務所へメールで連絡してください。メールの件名には「今週のお知らせの件」と書いてください。

4．立替金の精算方法が変更されました。今後は、領収証を事務所に提出してから現金受取りまで二週間ほどかかります。詳しくは教会委員か事務所ボランティアにお問合わせください。なお、特に急ぐときは神父様に相談してください。

5．10時ミサの玄関案内を4名から教会委員2名体制に減員します。ミサに遅れて来る方への対応は必要だが、対応する人はミサに集中しにくくなるという問題を考慮しました。

6．フリーディスカッション
バザーをテーマにフリーディスカッションを行いました。「様々な人がスタッフになり、世代や信徒会を超えて交われるバザーにしたい。」「福祉献金(バザー収益)集めだけが“教会バザー”の目的ではないという価値観の変革が必要。」「沢山の企画を一篇にやるのはスタッフの負担が大きい。何度かに小分けしたらどうか。」「テントは教会学校などでも使う。非力でも張れる軽量テントを購入したほうがよい。」等の意見がでました。

【主な報告事項】

1．典礼委員会
5/31に典礼委員会を開きました。

2．教会学校
・6/2初聖体8名。初聖体の子供たちのためにお祈りいただき有難うございました。
・6月教会学校は6/2、6/16。6/16はボリビア支援グループのお話しを聞きます。
・8/3（土）10:00～15:00「夏休みお楽しみ会」を計画しています。

3．キリスト教講座
11/30に待降節黙想会を予定しています。シスター小野恭世（イエズス孝女会葉山修道院）の講話があります。

4．財務委員会　精算方法説明（上述）

5．福祉委員会
5/19に第一回委員会を開きました。

６．広報委員会

「二十六聖人」７月号向け寄稿文募集

７．建物管理委員会

現在、委員１名なので委員を募集中です。

８．共同墓地委員会

5/25 に四教会合同「春の墓参」を行いました。天候に恵まれた良い墓参となりました。内藤神父様ご同席参加者 45～50 人。

９．ヨゼフ会

6/22～23 に練成会を予定しています。

１０．マリア会

5/31 に「第６回マリア会の日」（映画鑑賞「あん」と希望者にランチ提供）を行いました。二十数名が参加し、好評でした。

・パーティー係　6/9 ナン助祭様お祝いパーティーの準備と実施を担当します。

・アンナ会　5/13、5/23 に活動しました。6/10、6/24 に活動予定。

・ステラマリス帽子を編む会 5/17、5/23 に活動しました。6/21、6/27 に活動予定。

・ボリビア支援グループ　5/12 に「のんびり日曜日」を実施しました。6/30 に「ボリビアデイ」を開催する予定です。

１１．青年会

・5/19 に「わかちあいたいかい」を開催しました。大人約 60 名、未就学～小学生 10 名参加。協力して下さった皆さま、修道会の方々に感謝します。

・当教会主催で 8/17～18 に第三地区の小学５年生～中高生に向けた夏企画を行う予定です。その費用の一部に充てるため青年が物品販売を行います。

１２．インターファミリー

9/29 難民移住移動者の日に行う講演会に向けてポスターを作成します。J さんに原案をお願いしています。

１３．一粒会

6/30 (日)14:30 から二俣川教会にて第三地区一粒会の集いを行います。

以上。

＊＊

《“玄関当番”をご存知ですか？》

「おはようございます！」毎主日、10 時のミサの前に教会の玄関…建物前でご挨拶している教会委員会メンバーをご存知でしょうか？教会委員が輪番制で担当している“玄関当番”です。首から下げている、緑の“案内”札が目印です。

主な役割は、教会にいらした皆さんへのご挨拶、はじめて教会へ来た方・二俣川教会ははじめての方・久しぶりの方など、サポートが必要な方を見つけてフォローすることです(ミサ中にサポートが必要な方がいらした場合、皆様にご協力をお願いすることもあります) 。併せて、車椅子や遅れていらした方の聖堂内へのご案内、駐車場の案内(主日 10 時ミサは許可証が必要)も行っています。玄関当番担当者もことばの典礼の途中で聖堂内に入ってごミサに与かりますが、聖堂の後方におりますので体調不良などでお困りの際は、初期対応できます(司祭執務室が一旦の救護室となります)。

大切なミサ聖祭、特にたくさんの方が集う主日 10 時ミサですので、互いに気づき合い、サポートし合って、共にごミサを捧げたいと思います。これからもよろしくお願いします。

教会委員会

第 11 回 わかちあいたいかい報告

5 月 19 日(日)聖霊降臨の主日にわかちあいたいかいを行いました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました！中学生～大人約 60 名、未就学児から小学生約 10 名が参加しました。今回のテーマは、"ともに歩む"教会ってなんだろう？～聖霊の交わりの中で～でした。ミサ後すぐに皆さんで、シノドスについての説明と上智大学神学部の教授からいただいたわかちあいに関するお話の映像を視聴し、二俣川教会の過去の交わりや今の姿を思い返し、そしてこれから共に目指すことなど、それぞれの立場から活発なわかちあいが行われました。神父様やシスターも参加してくださり、二俣川教会には子どもたちが多く、盛り上がっていて素晴らしいとお話しくださいました。これからも聖霊の交わりの中にあって、共に歩む雰囲気や機会を作れたら嬉しく思います。下記に参加者の方からの感想をご紹介します！

青年会

参加者の声

＜「シノドス」実感＞

「シノドス」とは、この世から天国への道のこと、ひとりではなく共に歩み旅をすること。私も、もうすぐ 80 歳。ここまで生きてくると私は如何に小さな存在であるかが解ってくる。小さきは小さきままに咲くのでしょう。そしていつしか咲き終わるのでしょう。咲き続けるのも難しい事だが咲き終わることはもっと難しいような気がして来る。これからその時をそう遠くないうちに経験しようとしている。天国へ入るとは私も 1 人で入ると思っていたがそうではないのかも。イヤ罪も様々だから地獄は 1 人で行くのでしょう。同罪として友達と一緒に地獄に落とされるならそれも良いのかも。地獄は良い所なはずがない。やはり、私はイヤだ。絶対困る。そもそも私は天国に召されたくて受洗したのだから。生きづらいこの世の旅も、複数人で相助け合うこと。長所は生かし短所は共に修正を重ねながら共に認め合い前向きに生きること。修正には修正が必要になるかもしれない。イヤになるかもしれない。謙虚に非を認め明日に夢を見、高みへと変化できることを信じて。その先には両手を広げて待っていて下さるイエス様やマリア様がおられることを信じて。いざ行かむ。

エリザベト　O. S.

＜わかちあいたいかい参加記＞

私にとってご復活とは「信仰の健康診断」、すなわち「イエス様のご復活の神秘にお力を頂き、自分の信仰の隅々まで点検して調整する」ことです。今年の「わかちあいたいかい」も、ご復活の締めくくりならではのお恵みを頂きました。なんといっても目から鱗だったのは「シノドスの 3 つの意味」！今までは言葉自体は知っていても自分の信仰生活と関連づけ方が分からなかったのですが、グループの方々のお話しを拝聴し「シノドス＝交わり、参加、宣教のバランス」という視点をもとに自分の信仰を振り返ることができました。私が 3 つに等しく関われる日が来るのは、きっとまだ先のことだと思います。でも同じグループの方々のお話を伺って、神様が私たちそれぞれに一番良い時を下さっているんだな、と信じる心を新たにしました。まさに聖霊のお働きですね。企画して下さった青年会の皆さん、ありがとうございました。

マグダラのマリア　S. S.

＜交わりを待ち望む人になりたい＞

気の合う仲間と交わるのは難しくありません。助けを求めている人と交わるには勇気が要りますが、交わることはできそうです。それは相手が交わりを待ち望んでいるからです。
しかし、交わりを待ち望んでいない人もいます。グループＫでは、自分のせいで不仲になった家族、ボケて人柄が豹変した肉親のエピソードを分かち合いました。まともに話ができない、仲を取り持ってくれる人もいない、だんだん居たたまれなくなってくる、そういう話です。そんな分かち合いのすえに辿り着いたのは意外なことに「その人のために祈る」でした。私と交わりたくない人のために祈るのは本当に難しい。祈っても交われるとは思えないし、その人と交わらなくても他に人はたくさん居るし、何でそこまでしなければならいのか。神様は私達との交わりを待ち望む方で、私達も互いに交わりを待ち望むように願っておられるから、というのが唯一の理由です。聖霊の働きによって、こんな私でもきっとできると信じています。　ヨハネ　A. N.

ともに歩むとは何かについて考える中で、みなさん自分とは違う世代のためのことについて考えていらっしゃいました。特に子供について考えていらっしゃる方が多く、見ていていいなと思うだけでなく直接的に関わる機会を設けることも良いのではないかとグループでの思いを受け止めてまとめてくださいました。　マリアセシリア　T. A.

私達のグループでの話し合いの初めに人生のつらい話が出ました。メンバーはその話にすっと寄り添い受け入れて、良い結果に話が落ち着きました。私はこの時、これこそシノドスではないかと感じました。初めての経験でした。この経験を与えてくださったこの機会とメンバーの方々、ありがとうございました。　ベルナデッタ　S. S.

（写真　５枚）

皆で祈りましょう！

7 月 26 日は 聖マリアの両親、聖ヨアキムと聖アンナの記念日です。親が子どものために祈ることは数多くありますが、この機会に「両親のため」、「代父･代母」、また「わたしたちの成長を見守ってくださっている、「社会の中の親」 のために感謝を込めて祈りましょう。

親のための祈り

神はわたしが親を大事にすることを望んでおられる。
しかしわたしは、ときどき、感謝の心を忘れ、親はわたしのために働き、
わたしより先に年をとっていくのに、かえって心配をかけてしまう。
神よ、わたしに親への感謝の心をお与えください。
あなたの愛で、わたしの冷たさを優しさといたわりに変えてくださいますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（「カトリック祈祷書　祈りの友」　より）

＊＊

二俣川教会 ニュース

●新信徒の集い

5 月 26 日（日）に新信徒の集いを行いました。今年の復活徹夜祭で受洗された方の受洗の喜びをわかちあい、また、信徒会や教会委員会のことを知っていただく為の集いです。信徒会、教会委員会の説明と詳細活動を冊子にまとめてお渡ししました。1 時間と短い時間でしたが、各会の代表者と交わりを持つことが出来、恵み豊かなわかちあいとなりました。

●姜神父様のためにお祈りしましょう！

7月13日(土)は姜神父様の30回目の司祭叙階記念日です！叙階記念日は、司祭にとってお誕生日のような日。今年も青年会から、銀祝の翌年からはじめた『祈りの輪』へのお誘いです。『祈りの輪』は、別々の場所にあっても、同じ時間に同じ意向を持って捧げることで、霊的な繋がりを感じましょうという計画です。

日時：7月13日(土) 21時
意向：姜神父様がこれからも主の御旨のままに、そして健康に司祭としての道を歩まれ、
　　私たちは姜神父様を通して頂く神様のお恵みに豊かに与ることができますように。
場所：それぞれがいるところ(自宅や職場…どこでもOKです。集まりません。)
内容：【主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄唱】を１回ずつ、心を込めて捧げましょう。

ナン助祭のお祝いが行われました！

6 月 9 日、4 月に助祭叙階されたナン助祭が二俣川教会に帰ってきてくださいました。二俣川教会においては初めてとなる助祭奉仕をしてくださり、初説教を聴かせてくださいました。ミサの後には聖堂にて、お祝いの時間。教会委員長のお祝いの言葉につづき、アーメンハレルヤにのせて、子どもたちと青年がお花を 1 輪ずつナン助祭にプレゼントしました。最後には色とりどりの素敵な花束になりました。全体での集合写真の後は、2 階でのお祝いパーティー。パーティー係さんが準備してくださったお料理に舌鼓を打ちながらの歓談タイム、お祝いの喜びを分かち合いました。夏休みの帰省を楽しみに待ちながら、司祭叙階へ向けての約 1 年間、ナン助祭のために祈りながら、私たちも成長する信仰の道を共に歩んで参りましょう。

（写真、集合写真）

青年会インタビュー

(青) ＝青年会　(イ) ＝インタビュアー

小学５年生～高校生対象の夏企画を準備中の青年会に聞いてみました！

イ：今年の夏企画は、二俣川教会主催ですか？
青：はい、今年は二俣川教会青年会が主催、第３地区の他の６つの小教区にも子どもたちの参加を呼びかけます。それは、スタッフ自身が中高生の時に同世代の信仰を持つ仲間と出会った素敵な経験があるからです。そして、将来のためにもぜひ一緒にスタッフ経験を積みたいので、準備を共にする青年スタッフも募集しました。

イ：今年は小学５年生から高校３年生が対象だと聞いています。なぜでしょうか？
青：昨年青年会が保土ヶ谷教会と合同で主催したサマーキャンプは、小学校低学年からを対象としましたが、今年は小学校５年生からとし、信者として自立し始める時期にある子どもたちとの時間を中心に考えたいと思いました。

イ：そこにはどんな意向や思いがありますか？
青：同世代の信仰を持つ仲間と出会う喜び、心を開き合ってこその安心感、それらを知ってもらいたい。そして、子どもたちと青年たちとの繋がりも育みたいと考えています。これは切実なことで、今の生活環境やコロナによって途切れてしまい、得られにくくなってしまった大切な絆で、日常の中高生会や未来の教会にとって、とても大切なことだと思っています。

イ：どんなテーマやみことばを決めて、準備していますか？
青：今年のテーマは「Hola! ここにいるよ!」です。サブテーマは、ヨハネ 15 章の「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」という箇所です。テーマを決める会議が、まるで分かち合いでした。

イ：どんな夏企画になりそうですか？
青：子どもたちが自分を知ること、そして仲間と本当に出会うこと、そして神様を感じること。これを楽しい企画と１泊２日の中で４回もの分かち合いの時間を通して伝えていきたいと準備をしています。昨年姜神父様に、夏企画において、すべてのことを霊的な意味合いを持って準備することの大切さを教えていただいたので、今年も挑戦しています。

イ：先日の修道院のお菓子販売はいかがでしたか？
青：お陰様で、目標を大きく超える 31,730 円を集めることができました。呼びかけを聴いてご協力くださった皆様からの温かいお気持ち、心から感謝いたします。これから準備が本格化します。子どもたちへの参加の呼びかけも含め、引き続き応援をよろしくお願いします！

夏企画概要

開催日：８月 17 日(土) 昼 ～ 18 日(日) 夕方

開催場所：カトリック二俣川教会 (18 日は茅ヶ崎教会訪問予定)

対象：小学校５年生～高校３年生 申し込み期間：７月７日(日)～28 日(日) 参加費：無料 (各小教区で異なります)　　詳細は参加募集ポスターをご覧ください。

きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会 教会学校
2024 年 7 月

【7月～8 月の予定】

・7月 7日	クラス
・7月 14日	侍者会
・7月 21 日	教会学校一学期終 業
・8 月 3 日（土）	夏休みお楽しみ会
・8 月 17 日（土）、18 日（日）	二俣川教会主催 第 3 地区対象中高生合宿

＊８月３日　11時～15時の予定で夏休みお楽しみ会を計画しています。

水遊びやクラフト、簡単なクッキングをしてお昼ごはんをいっしょに食べるなど、楽しい企画を 考 えています。
7月7日にお知らせを配布する予定です。

● 初聖体おめでとう！　6月2日＜キリストの聖体＞

8人の子どもたちが初聖体のお恵みを受けました。約半年をかけて準備をしてきました。お祈りも勉強も頑張りましたね。これからが始まりです。ご聖体のイエス様を 頂 いて、心も 体 も元気でいられますように、イエス様のように優しくて強い人になれますように。

●ボリビアのお話し　6月16日

マリア会のボリビア支援グループの方をゲストティーチャーとしてお迎えし、ボリビアのお 話 を 伺 いました。遠い国のお友達のことを 考 える日となりました。

お花のお祈りボードの前で
たくさんのお祈りありがとうございました

ミサ後のプチセレモニー
笑顔がいっぱい

侍者もできるようになります
神父様のお話 を真剣に聞いています

マリア会通信 No. 140

コロナでマリア会としての、人間交流が途絶えてしまって、本当に寂しい思いをしてきました。

5 月 31 日(マリアの訪問の記念日)に、私たちが待ちに待った「マリア会の日」が、とうとう実現しました。当日は、金曜日　の雨が予想される曇天でしたが、ミサ後に 20 名ほどの方々と「あん」の映画を鑑賞しました。樹木希林さん扮する徳江さんの粒あんづくりは、小豆と会話しながらの丁寧なお仕事で、作られたあんの詰まったどら焼きを、食べてみたいと思うほどでした。ハンセン病差別という重いテーマの映画ですが、ほのぼのと温かさが感じられる良い作品でした。

この映画の上映準備をしていた時に、厚生労働省がハンセン病の元患者や家族への偏見差別に関する初の全国意識調査の結果報告書を出しました。NHK の朝の番組でも、4 月 4 日の朝日新聞朝刊にも「ハンセン病差別意識 なお 35%」の記事が掲載されました。

二俣川教会では、かつて神山復生病院(日本初の民間のハンセン病治療院)をお尋ねしたことがありました。元ハンセン病患者さんのお話をお聞きして、参加者でわかちあいをしました。私たちの学びの記憶が薄れていく中、キリスト者として『差別』とどう向き合うかを考える良いチャンスだったと思います。

映画の内容をイメージしたランチは、桜色(梅ひじき)の混ぜご飯と桜大根、ほうれん草としめじの煮浸し、シュウマイ、お豆腐と茄子のグラタン、メロ(銀むつ)の頬肉の塩麹漬、デザートは手作りのどら焼きでした。25 人の方々と久しぶりに懇談のお食事をしました。

映画の上映に際して、音響、映写のために協力してくださった元事務所長の T さんに感謝致します。

マリア会 K. M.

「編集後記」

6 月より募集した「あなたにとって召命とは？」のご寄稿をいただき、誠にありがとうございました。姜神父様叙階 30 周年を祝う「ことばの花束」として掲載いたしました。来る夏企画に向けて霊的準備を始めた青年会の皆さん、ご苦労様です。参加者の皆さんからの感想をお待ちしています。どうぞお楽しみに。

(S. O. 記)